

授業科目名	自然地理学			担当教員名	河本 大地	
科目区分	単位	配当年次	実施時期	曜日・時限	形態	
教養教育科目	選択	2	1~4	春・秋学期	(春学期) 水・3 (秋学期) 月・2	講義
授業概要						
<p>ここは観光文化の大学。観光や文化は「地域」や「自然」の上になりたっています。そこで、地域を理解する道具として「地図」を使えるようトレーニングします。また、自然とのかかわりにおいて免れることのできない「自然災害」や、地学的資源を活かしたツーリズムの基礎知識を身につけます。</p>						
到達目標						
<p>☆「地図」を、地域を理解する道具として活用できるようになる。 ☆「自然災害」の起きるメカニズムと地形に関する基礎知識を身につける。 ☆ジオツーリズムとジオパークについて理解する。 ☆世界の大陸、日本の都道府県の位置関係とおおまかな形状を描けるようになる。 ☆適切なことばを使って、自然景観や自然環境、位置関係などを表現できるようになる。</p>						
授業方法(展開)						
☆講義、演習、エクスカージョンを組み合わせ実施します。						
関連科目・知識・スキル						
<p>☆本科目では環境問題についてはあまり扱いませんが、「自然環境保全論」とあわせて履修することで、自然に対する理解が深まります。 ☆地域研究科目や調査研究科目、「京阪神の地理歴史」などで、地域の見方を強化すべし。 ☆「NGO・NPO 論」…防災・減災やまちづくりにおいて関係します。</p>						
成績評価						
<p>☆成績評価は<u>ポイント制</u>です。 ☆基本的には、<u>各回の課題で評価</u>します。<u>最終試験を行わない分、そちらはややハード</u>です。 ☆時々、ノートや配付資料へのメモの充実度をチェックしたり、発表をさせたりします。また、授業内容に関連するセミナー、イベント等への参加を奨励します。これらもポイントに加算します。</p>						
教科書・参考書など						
☆資料は担当教員が用意し、参考書を随時紹介します。						
履修上の注意事項						
<p>☆前半は地図に色を塗る活動が多い。<u>12色以上の色鉛筆</u>を毎回用意しておくこと。 ☆<u>ノートパソコン</u>と<u>世界・日本地図帳</u>を毎回必ず持参すること。 ☆<u>世界・日本の陸地の位置関係とおおまかな形状を、日頃から地図帳を見て覚える</u>こと。</p>						

授業の柱(単元)と授業スケジュール

□地理学って何？ ぐらしや観光にどう役立つ？ (1回程度)

□地図 ～地表環境を表現する芸術&科学 (5回程度)

★さまざまな種類の地図に触れる

★地形図と Google Earth で地域の姿を読み解く …繰り返し繰り返し練習します！

*地形図の等高線から地形を読めるようになる。

*地形図から土地利用を読めるようになる。

*Google Earth の使い方を覚え、さまざまな場面で活用できるようになる。

*地形、土地利用、集落の位置と形、交通網から、地域の姿を説明できるようになる。

★GIS (地理情報システム) のしくみ・成り立ち、活用法

□自然災害と地域

★地震の発生メカニズムと阪神・淡路大震災 (2回)

★エクスカージョン (1日)

…阪神・淡路大震災と被災地・神戸について理解を深める。

*「人と防災未来センター」を見学する。

*新長田駅周辺を訪ね、復興の過程と下町文化について理解する。

*企画、しおりづくり、案内、報告は基本的にみなさん自身が行う。

★火山災害・気象災害とハザードマップ (3回)

□温泉とジオパーク・ジオツーリズム (3回程度)

…日本の観光文化の重要な資源である温泉と、地形・地質など大地の遺産をいかした学習観光であるジオツーリズム、その主たる舞台となっているジオパークについて理解する。

学生への一言

☆授業開始前には深呼吸！トイレはすませ、のびのびとした気持ちで積極的に参加しよう。

☆ノートをしっかりとること。授業中は携帯を出さないこと。遅刻・早退厳禁。質問はいつでも歓迎！